

令和4年度（2022年度）行政評価シート【個表】

令和 4 年 8 月 25 日

評価対象事業		評価者	観光課長 鷺尾 礼弁	
市民-17	観光振興支援事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	観光課
		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	大河ドラマ担当
総合計画上の位置付け	分野	観光	施策の方針	観光振興の推進

1 事業の目的

対象	観光客等
意図	観光事業者、観光団体、市民・市民団体等様々な観光主体が一体となり、地域全体で観光振興を図るため。
効果	観光消費の増大による既存産業の活性化、雇用機会の拡大等の経済的効果や、市民の誇りや郷土愛の醸成、観光客の定住促進等の社会的効果を通じて、地域の活性化につながる。

2 令和3年度(2021年度)に実施した事業の概要

俳句&ハイクに負担金を交付し、本市の観光振興の充実を図った。
大河ドラマの放送に契機とした地域の活性化に取り組むため、大河ドラマ「鎌倉殿の13人」鎌倉市推進協議会へ負担金を支出した。

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和3年度		令和4年度	達成度
				指標(実績値/目標値) 事業費(決算/当初)(千円)		指標(目標値) 予算額(千円)	
01	鎌倉ビーチフェスタ事業	鎌倉ビーチフェスタ事業負担金	参加者数	中止 / 0 / 1,045		1,045	
02	俳句&ハイク事業	俳句&ハイク事業負担金	投句数	11,246 / 486 / 486		486	
03	主要観光行事安全対策事業	主要観光行事安全対策負担金		/ 0 / 0		12,498	
04	大河ドラマ事業	大河ドラマ推進協議会負担金等		/ 229,704 / 322,731		339,504	
05				/ /			
06				/ /			
07				/ /			
08				/ /			
09				/ /			
10				/ /			
		財源内訳	国県支出金	36,051 /			
			地方債	/			
			その他特定財源	/		339,504	
			一般財源	194,139 / 324,262		14,029	
			事業費の合計(千円)	230,190 / 324,262		353,533	
			人件費(千円)	32,624		34,350	

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	0.3	4.3	4.3			
会計年度任用職員	0.0	0.0	1.0			

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	鎌倉ビーチフェスタ事業	海の魅力、楽しさを多くの人に知ってもらうことを目的としていることから、参加者数が指標として適当である。	協議会において、各団体と連携しながら、鎌倉の海の素晴らしさを再認識し、鎌倉の新たな魅力を発信していくことにより、観光振興に繋げるものである。	費用対効果を見つつ事業の内容について、観光振興に大きな効果もたらすよう検討する必要がある。
02	俳句&ハイク事業	文化都市鎌倉の通年イベントとして、文化、観光振興を図ることを目的としており、投句数が指標として適当である。	俳句を通して鎌倉の文化・観光振興及び地域活性化を図るものである。	費用対効果を見つつ事業の内容について、観光振興に大きな効果もたらすよう検討する必要がある。
03	主要観光行事安全対策事業	指標の設定なし イベントの安全対策への市の負担であることから、指標の設定が難しいため。	鎌倉まつり、鎌倉花火大会の安全対策費として市が取り組むべきものである。	安全対策をしっかりと取り組みつつ、経費削減を検討していく。
04	大河ドラマ事業	大河ドラマの放送を契機に、鎌倉の新たな魅力を発見してもらうことを目的としていることから、観光客の満足度が指標として適当である。	協議会において、各団体と連携しながら、鎌倉の歴史・文化を発信するとともに、混雑対策など地域の課題を踏まえた観光振興に繋げるものである。	協議会において、大河ドラマ館入館料等の収益確保に努めるとともに、経費の削減に努め、市の財政負担の軽減を図る必要がある。
05	0			
06	0			
07	0			
08	0			
09	0			
10	0			

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	3 外部化ができる事業はない
	関連・類似する事業の統合はできないか	3 統合できる事業はない
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	3 民間によるサービスで代替できる事業はない
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 △-3 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	○.協働実施済 協働実施済の場合のパートナー
		○-2 市民等と協働して適切に事業を実施している 鎌倉花火大会実行委員会、俳句&ハイク実行委員会、鎌倉ビーチフェスタ実行委員会、大河ドラマ「鎌倉殿の13人」鎌倉市推進協議会

(3) 総合評価

※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 改善・変更	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休止・廃止
各協議会等の事業内容について、観光振興に大きな効果もたらすよう働きかけていくとともに、経費の削減に努めていく。					

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)	観光客の満足度						単位	%
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
当該事業の実施により、観光客の満足度を向上させるため。	目標値	88.5	89.0	89.0	89.5	89.5	90.0	
	実績値	81.0						
	達成率	91.5%						

指標(単位)							単位	
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	入込観光客数(令和元年)単位:千人							
団体名	鎌倉市	藤沢市	横須賀市	逗子市	三浦市	横浜市	川崎市	箱根町
他市実績	7,380	11,558	4,752	464	4,018	19,324	14,330	12,570

当該事業実施に伴う 他市比較に関する考え方	県内全市町村が実施している入込観光客数調査において、鎌倉市は県内5番目であるが、面積は4市よりも小さいことから、他市に比べて観光客が密集していることが伺える。
--------------------------	---